



第56回みやぎ国体

全種別に出場権獲得

国体関東ブロック大会

群馬岳連国体委員長 角田 二三男

第56回みやぎ国体関東ブロック大会山岳競技会は、七月二十日から二十二日の三日間、地元の榛名町を会場に開催された。本県は成年女子が2位、少年は男女とも1位で、全種別が見事に本大会の出場権を獲得した。

昨年プロック大会(山梨県)で、成年女子は1位で通過して「とやま国体」に出場、7位入賞を果たしたが、少年は男女とも残念ながら実力を発揮できず、通過できなかった。

成年女子は今年度も県体育協会から有望種別として認められ、支援スタッフとして昨年に引き続き中原正喜氏(岳連参与・ミヤマ山岳会)を迎えることができた。少年の選手たちも指導していただき、強化が図られたが、その効果には

計り知れないものがあつた。

少年は、地元開催であることに、得意の踏査競技が今年度限りということもあり、例年以上に多くの選手を強化指定して、スタッフも十分な体制で、充実した合宿を組んだ。OGの協力が得られたことも力強く、有難かつた。

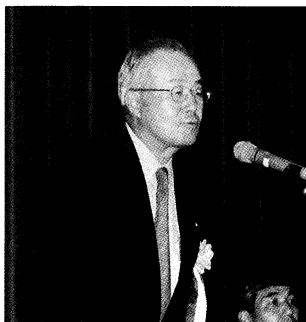
今年の七月前半は異常な猛暑となり、選手の熱中症などが懸念される中で本番を迎えた。

開始式では、群馬の成年女子・少年男女の代表三人によるユニークな選手宣誓が行われ、競技が開始された。

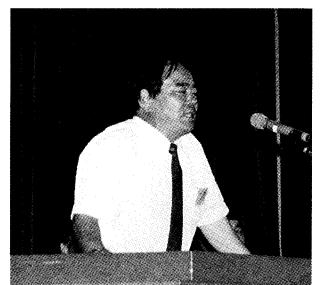
蓋を開けてみると、地元とはいえ群馬チームは、特に踏査競技では驚異的な強さで他の都県を圧倒した。少年は縦走で未知数の部分があつたが、男子の松本が1位に



挨拶 石井清一名誉会長



挨拶 星野 光山岳競技会長



競技開始宣言
八木原罔明競技委員長

入るなど、本県関係者を大いに喜ばせてくれた。

結果は、成年女子が不本意な2位であつたが、少年は目標どおりで、全種別がブロック通過したことを喜び合つた。おめでとう。

選手・監督そして支援してくださった多くのスタッフの皆さん、お疲れさまでした。そしてありがとうございました。

ストリート出場 of 成年男子を含めて四種別の出場は一昨年の熊本大会以来の快挙であり、十月の「みやぎ」での活躍を大いに期待しています。

◎大会日程および会場

二十日(金)

受付・諸会議(榛名町役場)

開始式(榛名町体育館)

登攀競技(特設クライミングウォール)

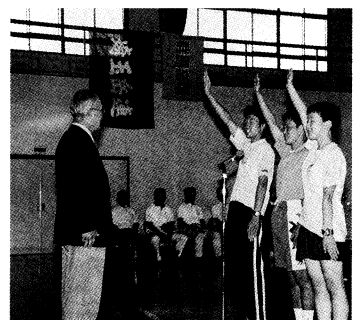
オール

二十一日(土)踏査競技(榛名山天狗山特設踏査コース)

二十二日(日)

縦走競技(榛名山杏が岳特設縦走コース)

表彰式(榛名町体育館)



選手宣誓 群馬県選手代表

◎成績および選手団

◆成年女子

総合 第2位(出場権獲得)

踏査 第4位

登攀 第1位

監督 山田 豊(沼田)

選手 法領田恵(前橋)

女屋寿美子(前橋)

加藤揚子(沼田)

◆少年男子

総合 第1位(出場権獲得)

縦走 第2位

(個人) 松本 大 第1位

踏査 第1位

監督 長谷川喜久男(高工)

選手 松本 大(前橋高)

斉藤 大(渋川高)

茂木智紀(高経大附)

◆少年女子

総合 第1位(出場権獲得)

縦走 第2位

踏査 第1位

監督 橋爪俊之(沼女高)

選手 椎原優子(沼女高)

田口照子(沼女高)

石村梨沙 (高経大附)

◎県内審判員

審判長 松田 龍彦
踏査審判員 小林 元雄
登攀審判員 新井 好司

◎各種目競技主任

登攀 赤松 久宇
踏査 茂木 稔
縦走 木村 正巳

大会運営を振り返って

国体委員会では、三年ほど前から話題にして、コース捜しなどを含め、会場地などの構想を練り始めた。約二年前には構想も固まり、具体的に動き始めたが、特にコース整備とその他の役場や森林組合、地権者などとの折衝が進められた。

一年前に実行委員会を発足させるつもりであったが、高体連のキリマンジャロ遠征や職場での都合など、それ以上に仕事の能率の悪さが災いして、年が明けてしまった。そんなこんなで組織づくりは遅かったが、それ以前に各団体委員がそれぞれ自然に自分の持ち場をもって動いてくれたので、何とか大会には間に合った。

また今年になっても、会場の変更や予定していた物が借用できなかったり、審判員がなかなか決まらない県があったり、熊の出没情報が入り、急ぎよ注意を呼び掛けたり、とにかく準備段階ではいろ

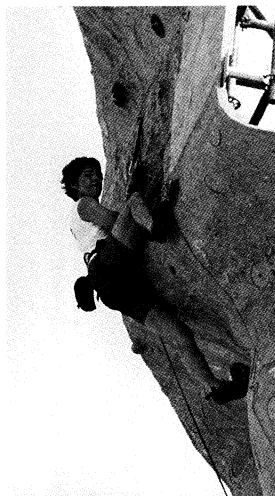
いろと紆余曲折があったが、本番では特にこれといった不都合もなく、成功裡に終えることができた。踏査コースは、最近の大会にな

い本格的山岳コースで、他県の評判を多少気にしていたところが、意外と好評であったようだ。教育委員会をはじめとする榛名町関係各位には大変お世話になりました。また、「はんな・さわらび療育園」の皆様には、縦走競技のスタート会場として、選手の練習段階からいろいろとご親切にして

いただき、本当にありがとうございました。直前のコース整備では、成年女子選手のご主人や監督自ら労力を提供していただいた。そして県内役員の皆さん、事前の全体会では集まりが悪くて運営の心配がありましたが、これも難なく(何となく?)クリアしていただきました。多くの皆さんに支えられて実り多き大会にすることができ、深く感謝いたします。



登攀 加藤揚子選手



登攀 女屋寿美子選手



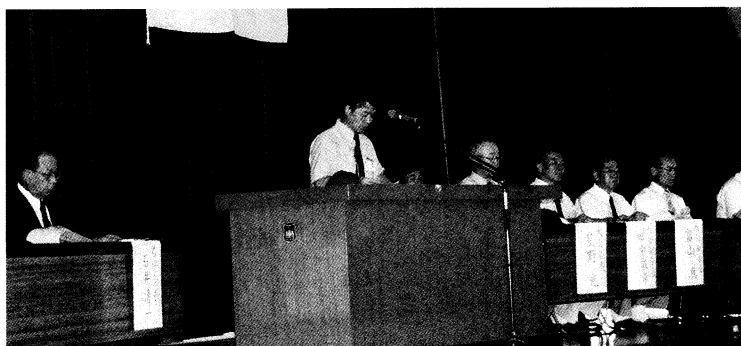
踏査(少女)ゴール



縦走(成女)スタート



通過認定証を手に



講評・成績発表 松田龍彦審判長

セミ・アルパインスタイルへの挑戦

群馬ミヤマ山岳会ダウラギリ1峰登山隊'01



登山隊長 星 野 龍 史

3人でヒマラヤに登りたい、という思いから始まったこの計画は、私の一存で、8,000m峰のバリエーションを含む、無酸素・シエルパレス・セミアルパインスタイルの計画となった。目標は、ダウラギリ1峰(8,167m)東壁もしくは、北東稜からの登頂である。3人とも、群馬岳連の登山隊の中で8,000m峰の登頂経験を積んでおり、充分に「登頂の可能性」を持ち、且つ、標高差約2,000mの東壁へのバリエーションルートを含む魅力的登山計画と考えている。計画進行中にて、前橋山岳会の名塚氏が、ローツェ南壁への順応登山として、北東稜のみの参加という形で加わった。輸送、装備・食料等、重複するものは共用するが、登山活動自体は、別行動の計画とした。

当会では、初である単一山岳会のヒマラヤ8,000mの登山隊。しかもバリエーションを含むセミ・アルパインスタイルの挑戦という大きな目論みを計画しているが、現在のミヤマ山岳会の実情は、山

行内容、日数、会員数とも減少の一途の中であり、空前絶後の計画ともいえるかもしれない。以前より、群馬県山岳連盟・海外登山研究会のヒマラヤ登山活動を推し進めている中枢のメンバーに当会の諸先輩方が多く占めていたのは、今でも変わらない。しかし、我々の世代でのこの計画は、私自身、当会あげての計画とは、胸を張れない。ただ、我々は、かえって少ない現役会員の現状で、自分達の恵まれた経験を生かし、自由に、行きたいヒマラヤへ行こうと、計画をたてた。

目標としたダウラギリ1峰は、1978年の群馬県山岳連盟隊による南東稜の世界初登頂を始め、1982年のカモシカ同人隊による北壁ペアルート初登頂等、群馬の先輩方の功績も多く刻まれた山である。現在では、高峰のあらゆるルートからの登頂が成されていることを示すように、最難関と言われた南壁も、より中央のラインが単独で登られている。東壁は、1980年5月に、W・クルティ

力等4人の英国・ポーランドの混成隊に初登されており、以降、2隊の登山隊により登られている。

世界の登山界のレベルには、足元にも及ばないが、我々の持てる力にて、少人数による8,000mへの登山を実践する事に目標を据えました。

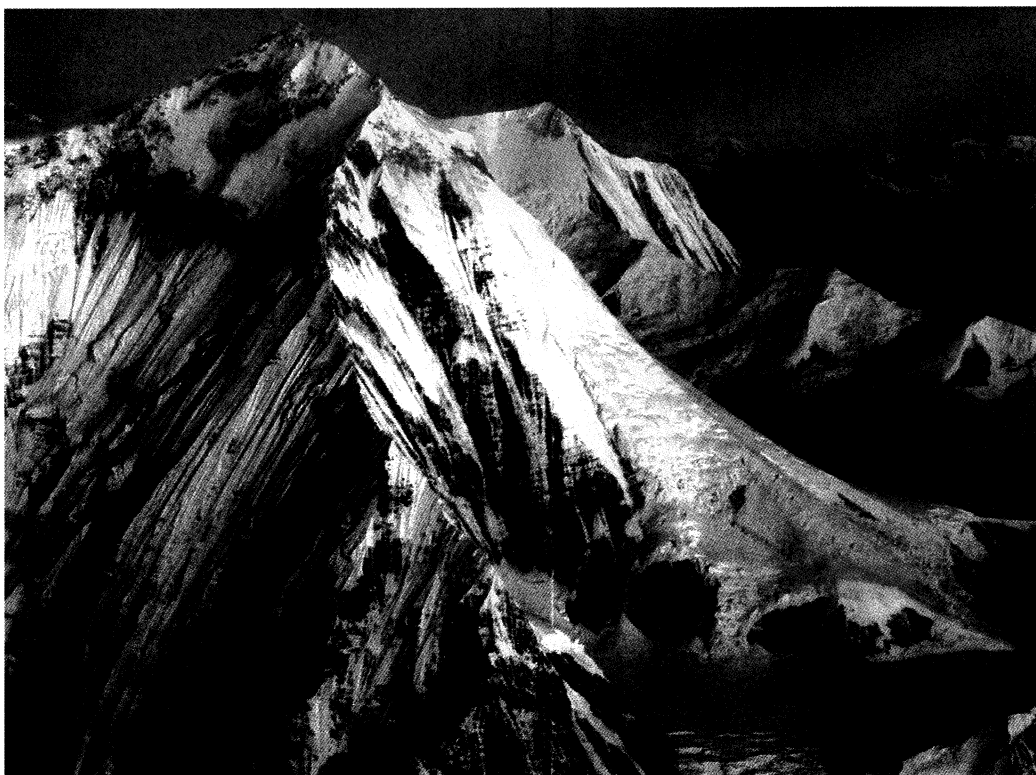
私たちは、過去、岳連隊にて、組織登山による高峰のバリエーション・冬期を経験させて頂きました。その中で、カラコルムの8,000m峰無酸素登山の実践(1997年)、シ・シャパンマでの完全シエルパレスの実践(1999年)と、経験を積ませて頂きました。

今回の登山にて、少人数による省力化(装備・食料・輸送等の費用全般)、そして、それに伴う迅速性を目指して、目標の高峰へ挑んで参りたいと思います。

皆様方には、多大なご支援いただき、誠にありがとうございます。

登山隊構成

隊長 星野龍史 隊員 名塚秀二(前橋山岳会)、品川幸彦、福本誠志。コック1名



救助隊救助訓練

群馬岳連遭難対策部長 松 永 幸 雄

例年谷川岳の山開きに合わせて行われている群馬県山岳連盟救助隊の救助訓練を、七月一日、東黒沢の鼻毛ノ滝で行いました。

当日は、今年度から隊員になった三人の新隊員も参加し、総勢十七名での訓練となりました。

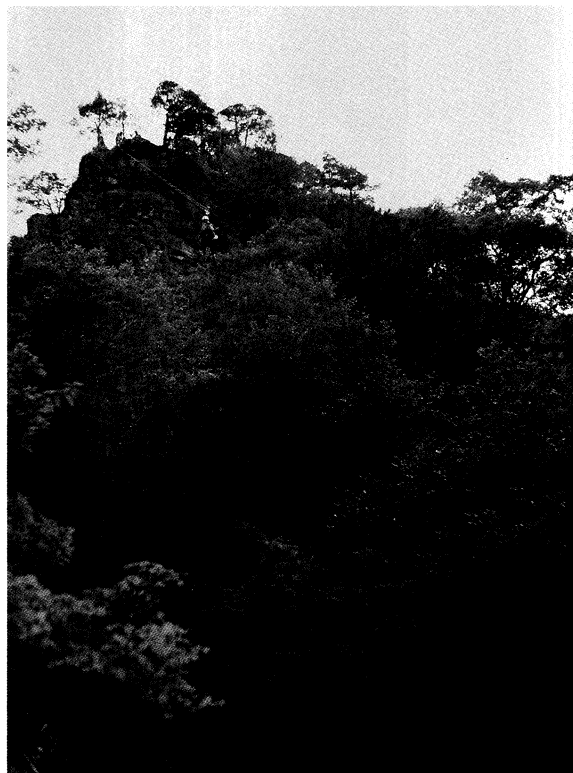
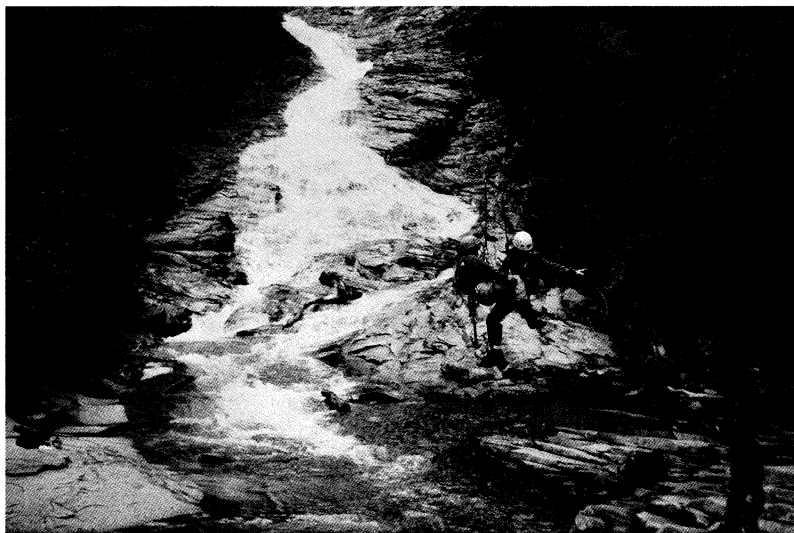
新体制の救助隊も四年目となり、隊員の間からワイヤーを使っ

た救助技術の理解と、より一層の技術の向上を図りたいとの要望から、鼻毛ノ滝の右岸の岸壁を使つた実戦に即した訓練を実施しました。

ワイヤーを使い岸壁の途中の負傷者を救助し、ワイヤーを張り込み、より安全な空中を搬送する「張り込み救助」等、救助技術の向上

のための先輩隊員達の熱心な指導で、若い隊員達がかなり自信を付けたことと思います。

ヘリコプターや県警で対応できない困難な場所での救助活動がスムーズに行われるよう、より一層の技術の向上に向けて今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。

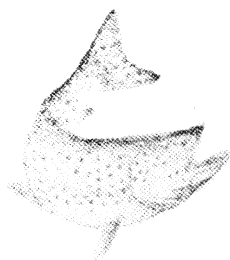


味の店 ドライバーレストラン

一本松さかい

利根郡白沢村（国道120号線） TEL.0278-53-2053

片品川国際マス釣場



星 野 水 産

〒378-0013 沼田市新町230-1

TEL 0278-24-1398

味のりんご

アンナプルナりんご園

沼田市上久屋町1231 TEL・FAX 0278-23-6802

Annapurna

墓 石 ・ 灯 籠 専 門 店



高 橋 石 井

高崎市石原町1497 TEL (027) 323-8867
 工場・高崎市八幡町1245-67 TEL (027) 343-0270

群馬むすびの会会員

電話、弱電工事

プ モ リ 電 設

〒379-2223

佐波郡東村東小保方252

☎ 0270-62-2012



(有) 山とスキーの店 石 井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町1819-1

TEL 0270-21-8025

FAX 0270-21-8026

本店 (山の談話室 楼蘭)

伊勢崎市中心町18-8

TEL 0270-25-0272

T. H. I. CORPORATION

TEL:03(5245)0511
FAX:03(5245)0510
(株) ティ・エッチ・アイ

登山隊遠征

- ガモフバッグ、パルスオキシメーターのレンタル、販売
- 隊荷輸送
- 隊荷梱包用資材

個人手配からフルパッケージ・ツアーまで海外旅行に関するすべてをお手伝いします

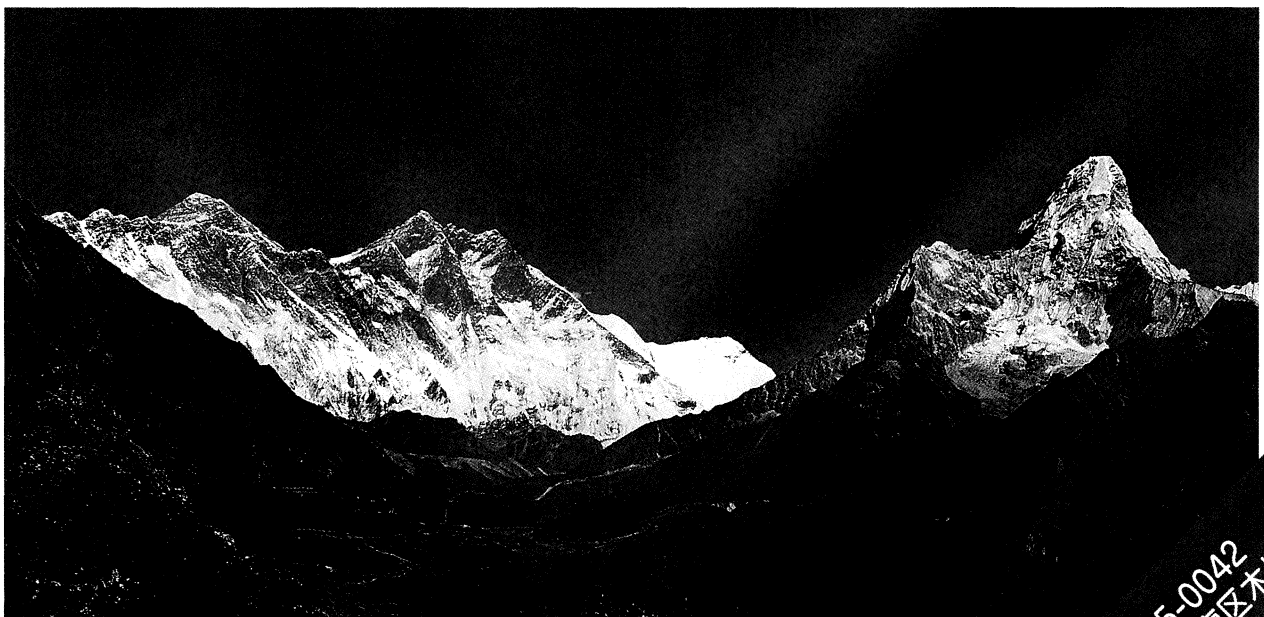
ディスカウント航空券

- 世界各地への航空券
- ホテル、交通機関の手配
- ビザ取得代行

トレッキング

- ネパール、インド、ヨーロッパ・アルプスを始め世界各地でのトレッキング、海外登山

何でもお気軽にご相談ください



T. H. I. CORPORATION

〒135-0042
東京都江東区木場
2-5-7
KHビル7F



萬屋建設グループ

歴史、信用、技術をもって、21世紀の人間と環境を考える。



総合建設業 萬屋建設株式会社

会 長 星 野 光

■本社 群馬県沼田市上原町1756-2 TEL 0278-23-4648(代) FAX 0278-24-3371
 ■支店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-3985-7631 FAX 03-3982-5964

群馬県公安委員会指定 (公認)

株式会社 沼田自動車教習所

群馬県沼田市横塚町1088-13 TEL 0278-24-4811 FAX 0278-23-7960

昭和シェル石油特約店 有限会社 丸萬石油

群馬県沼田市上原町1756
 TEL 0278-23-0018 ☎ 0120-41-0018

日本工業規格表示許可工場 建設生コン株式会社

本 社 沼田市上久屋2338-1 TEL 0278-24-3111
 大楊工場 利根郡利根村大字大楊187 TEL 0278-56-3682

総合建設業 株式会社 鈴木工業所

群馬県沼田市上久屋1162-5
 TEL 0278-22-2846 FAX 0278-23-6233

マンション 萬栄ビル株式会社

東京都豊島区東池袋4-2-7
 TEL 03-3971-3433 FAX 03-3982-5964